

教育長 殿

宮城県多賀城学校
校長 大宮司 昭倫

令和7年度学校評価報告書

1 本年度の重点目標

- 1 SSH事業の推進
- 2 学習・進路指導の充実
- 3 生徒指導・教育相談体制の充実
- 4 防災・減災・伝災教育の充実
- 5 ICT教育環境の充実

2 自己評価結果に対する学校関係者評価

A 達成している B おおよそ達成している C あまり達成していない D 達成していない

評価分野	評価項目	自己評価		学校関係者評価	
		自己評価結果	改善の方策	自己評価の適切さ	改善策の適切さ
学習指導	① 教育課程の効果的な運用と改善 ①及び学習評価についての研究・検討	A	SSH第2期の指定や、大学入試科目の動向を踏まえながら課題を解決しようとしている。前年度改訂した学習評価規定については滞りなく運用できている。シラバスの内容の整理や改訂した教務規定の運用については次年度も継続的に検討する。教務規定についてはよりわかりやすくなるよう示し方の工夫をしていく。	A	A
	② ベルと同時の授業開始の徹底	B	おおよそ達成できているが、準備不足による途中退席は少なからずある。あらかじめ必要な学習用具の周知とその準備を徹底させる声かけをしていく。	A	A
	③ 授業力向上を目指した授業評価と互見授業の実施	B	ロイロノートを活用し概ね計画通りに調査ができ、必要な情報を必要なだけ提供することができたが、調査の精度を維持しながら、教員一人あたりの調査数を減らしていくなどして、業務の軽減を図っていく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・目標どおりに進んでいる。・多くのプログラムを消化しながら努力されている。・各項目適切な自己評価をされており、また、適切な改善策を講じておられます。				
生徒指導	① 基本的な生活習慣の確立	B	全職員が日常から声かけをするように取り組む。生徒主体の啓発活動を継続していく。	A	A
	② 自主自立の精神の育成	B	行事の企画・運営、部活動の取り組みにおいて、生徒自身で考え行動にうつすことができるようにする。	A	A
	③ 個に応じた指導	A	生徒個人の様々な環境や状況に応じて、全職員で対応していく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・目標どおりに進んでいる。・礼儀正しい挨拶ができている点、素晴らしい。				
進路指導	① 進路達成に向けた学年ごとの取り組みの充実	B	面談等において活用できるデータを精選し、進路達成に向けた意欲向上につなげていく。	A	A
	② 探究的な活動と進路実現への結びつけ	B	課題研究の成果を入試に活かせる大学について分析し、その情報を発信していく。	A	A
	③ 自主学習の重要性を意識させる指導及び外部模試の分析と共有	A	模試データをもとにした声掛けの工夫について、教員間で情報共有を図っていく。	A	A
	④ 生徒・保護者・教員に対するガイダンスや研修の充実	B	これまでのガイダンスによる効果を検証し、さらなる進学実績の向上につなげていく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・目標どおりに進んでいる。・多くの生徒が希望した進路に進む事ができるように努力している。				
特色ある学校づくり	① 防災教育のパイロットスクールとしての防災・減災・伝災の取組と発信	A	40件を超える外部発表・交流を実施した。また、気象庁連携ワークショップの開催、課題研究における地域や大学をはじめとした外部機関との連携、多賀城市・塩竈市・七ヶ浜町の地域防災イベントへの参加を通して学びを活用し、学習成果を発信する機会を多く設けることができた。	A	A
	② SSH第2期における特色ある科目の研究	B	コンピテンシーベースで授業改善も実施できた。今後は県内外へのSSH事業の成果の普及・波及を図っていく。	A	A
	③ ICTを利活用した学習活動	B	ICT機器の活用に必要な環境を整備するとともに、機器を活用した学習活動を推進させていく。	A	A
学校関係者評価委員会における意見	・目標どおりに進んでいる。・特色ある教育方針で努力している。・子供たちのためにこれからも宜しくお願いします。・AIを使用していく上での、コントロール方法は検討していったほしい。				

3 次年度の課題と改善方策

次年度の課題	改善方策
① 保護者への周知方法の工夫	様々なケースにおける保護者への周知方法を工夫していく。
② 交通マナーの指導の徹底	通学路の坂が多いこともあるが、交通マナーの苦情も入ることから、交通マナー指導等を引き続き徹底していきたい。
③ ICT教育の工夫	学習指導等へのAIの導入に伴った導入方法を工夫していく。